訓練火災　訓練火災　２０１９

５月１３日(月)本年度２回目の避難訓練でした。想定は給食室からの火災。放送をしっかり聴いてあわてずに「おかしも」（**お**さない・**か**けない・**し**ゃべらない・**も**どらない）の約束を守っての避難です。

校庭の、校舎から離れたサッカーゴール前に本部旗を設置、子どもたちの避難を待っていると、３分過ぎには第一陣、その後続々と終結して、最終確認までは４分５９秒。５分を切れればと思っていましたが、しっかり５分未満で集合確認が完了しました。

子どもたちは集まる途中も、集まった後も、口を閉じてしっかりと「待つ」姿勢を保っていました。**“本当に釜利谷の子たちはがんばり屋さんだ”**と再認識しました。

火災のときは、窓を閉めてといいますが、それは余裕があるとき。まずは避難を考えること、そして煙による被害にあわないためにも、姿勢を低くしてハンカチなどでしっかりと口と鼻を覆うこと。そのためだけではありませんが、毎日清潔なハンカチは持たせてほしいと思っています。

先週の交通安全に続き、避難訓練も**「命を守る」**活動。子どもたちの真剣な取り組みが、うれしく感じられた時間でした。